



一般社団法人 都城国際交流協会会報

MIA NEWS

ミア ニュース

～協会からのお知らせ・インフォメーション～

◇日本語支援者スキルアップ講座を開催しました

2025年2月26日、アクラス日本語教育研究所の代表理事嶋田和子先生による日本語支援者スキルアップ講座を開催しました。当協会の日本語れんしゅう会で活動中の支援者の方々や市内で外国人に日本語を教えている会員の方が参加されました。



◇国際理解講座『セスさんのアメリカ料理教室』を開催しました！

2025年3月8日、アメリカの国際交流員セスさんによる料理教室を開催しました。セスさんの出身地、ノースカロライナでもよく食べられているアメリカ料理を作りました。また、アメリカについての話もありました。たくさんのご参加ありがとうございました。



◇MIA NEWSに記事を書きませんか

自分の国の紹介、海外旅行記、海外留学体験記、ホストファミリー体験談、各国際交流・協力団体の活動など、国際交流・協力に関する記事を記事に書いてみませんか。

◇外国人のための生活安全交流会を開催しました

2025年3月9日、市内在住の外国人市民を対象に生活安全交流会を開催しました。自然災害への備え、地震、都城市のごみの状況や間違えやすいごみの分別方法について勉強しました。参加された方からは、帰宅したらさっそく地震に備えたいなどの感想がありました。



◇使用済み切手を集めてアジア・アフリカに健康を届けよう！

アジア・アフリカの人々の健康のための使用済み切手収集にご協力いただきありがとうございます。

皆様から頂いた使用済み切手は、整理、換金され、途上国の保険医療活動を支える貴重な資金となっています。これからも引き続きご協力をよろしくお願い致します。



1200字程度で、写真1～2枚、文字数は1200字以下でもかまいません。1200字以上書きたいという方は協会にご相談ください。名前を掲載したくないという方も考慮いたします。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

～都城さよなら～

都城市中国国際交流員 張麗霞

時間が経つのは早いですね。

都城に来て1年、あっという間でした。4月、都城市の国際交流員の仕事を終えて中国に帰国します。先日、帰国便の航空券の予約をする時、そろそろ都城を離れていくという実感がありました。中国に家族を残して日本で仕事をするのは、わがままな決断でしたが、幸いなことに、家族の理解と支持を得て仕事をすることができました。この1年、家族は何度も日本に来て、素晴らしい思い出をいっぱい作りました。



韓国岳朝駆け

自然が大好きな私にとって、都城はいわば楽園のようです。朝、市役所本庁舎で朝礼の時、窓ガラス越しに高千穂峰がきれいに眺められ、退勤したら、澄んだ大淀川の河川敷を散策することができます。週末の晴れた日には、自転車をのんびりと気ままに走らせたり、友達を誘って山登りをしたりすることもできます。去年、初めて韓国岳登山の際、日の出前の空が少し明るくなってきたころ山頂に着いて、そこから眺めた眼下に広がる一面の雲海の美しさにとても圧倒されました。

食べることが好きな私にとって、都城はまるで天国のようです。霧島の大地のきれいな水と黒土で育った野菜はとても美味しく、特に冬の青梗菜や白菜は甘くておいしいです。さつまいもは、甘くてもちもちしていて、いくら食べても飽きません。お肉は言うまでもなく絶品で、炭火焼、チキン南蛮、生姜焼き、焼肉、どれもこれも私の大好物です。

自然豊かな都城に来て一番良かったと思うことは、やはり周りの人に恵まれたことです。仕事は楽しく、職場の雰囲気もとてもよかったです。また、仕事や生活上でも、職場の皆さんにいろいろとお世話になりました。まるで愛に満ち溢れた家族のようです。ここで

知り合った日本人の友達も中国人の友達も、私が都城に着いたばかりの頃、いろいろな生活用品を頂いたばかりではなく、休日にはあちこち遊びに連れていってくれました。皆さんのおかげで一度もホームシックにならず、充実した日々を過ごせました。

学校のかわいい子ども達。学校訪問は私の大好きな仕事です。子ども達の無邪気な笑顔、元気な挨拶、とても癒されます。また、講座やイベントなどで出会った優しい市民の方々、国と国の文化交流は、実は人と人との触れ合いだと思います。



えびの高原池巡り

ただ一つの挨拶でも、笑顔でも互いの距離が縮まります。直接顔を見て話す触れ合いを通して、相手のことはネット上の「あの国の人」のような遠い存在ではなく、身近な「この国の人」になれると思います。ですから、日本を肌で感じる機会を与えてくれた都城に感謝しています。また、「生」の中国を皆さんに見せる機会を与えてくれた都城にも感謝しています。

都城で過ごしたこの一年は、いつまでも忘れられない美しい思い出になるでしょう。私はこのすばらしい思い出を大切に、いつか、また都城に戻ってきます。皆さんもチャンスがあれば、ぜひ中国、私の故郷の重慶に遊びに来てください。私はそこで待っています。皆さん、「再見(ザイジェン)」。



関之尾周辺散策



「家畜の糞」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

アルガルの煙が立ちのぼる
牧人の家に生まれし我
人を知らぬこの広野を

これぞ我がゆりかごとと思う・・・

と、私たちが子どもの頃、この詩をよくロズさんでいました。不思議なことに、今でもこの詩を聞くとアルガル(乾燥牛糞)の香ばしい匂いがします。

遊牧民は、牛、馬、ラクダ、羊、山羊の5種類の家畜を中心に飼育してきました。これらの5畜は、遊牧生活の中でさまざまな場面で役立っています。食肉や乳製品、毛皮生産だけでなく、家畜の糞も効率よく使われています。

モンゴルの家畜は1500種類以上の植物を食べていて、その70%～80%は葉草です。森林の無い草原では一般的に木材燃料がありませんが、草食動物の乾燥糞を燃料として使います。

家畜の糞と言うと、皆さんはあまり良いイメージを持たないかもしれませんが、遊牧民にとっては、草原の宝物です。乾燥して冷涼なモンゴルでは、暖房や日常的な調理において、最も重要な燃料となります。

全ての畜糞を使いますが、それぞれ使い道が少し異なります。

・アルガル(牛糞)：

大きくて拾いやすい。火持ちが良く、よく使われています。

・ホモール(馬糞)：

牛と違って、反芻しないため火持ちが悪く、炊きつけ用ですが、2～3年経つと色が青っぽくなり、雨も通さない見事な燃料になります。

・ホロゴル(羊と山羊、ラクダの糞)：小さいため、拾っ



草原の至るところにある家畜の糞を独特な道具を使って拾う

て使うことはありませんが、踏み固められて厚い層になった物を切り取って乾燥させて使います。火力が強くて、最良の燃料となります。

よく乾燥していて火力が強くて、香りも良い畜糞は、一酸化炭素を出さないため、環境に優しくSDGsにも貢献しているのです。燃料としてだけではなく、他にも、効果がたくさんあります。

・ゲル(伝統住居)の北側に積み上げて風よけにしたり、冬にはゲルの床に敷いて防寒対策をしたりします。

・馬糞と牛糞からよく煙が出るので、畜舎の近くで焚くと子畜をハエ等から守ることができます。

・草原の肥料となって、牧草の生育を助けます。

・疲れきった人に牛糞をお香のように焚いてあげると、体の内外のエネルギーが回復し、すぐに気持ちが落ち着くと言われています。

都城の皆さん、ぜひ一度、草原で畜糞の香ばしい匂いを感じてみてくださいね。きっと落ち着きと安らぎを感じることができるでしょう。



穏やかなモンゴルの草原



「聖パトリックの祝日」

～都城市アメリカ国際交流員 セスさんによるアメリカ紹介～

皆様、抓られるのは好きですか？それとも嫌ですか？

まあ、人がどんな拘りを持っているかは問いませんが、万が一「嫌派」だとしたら、アメリカの3月17日が来たら、注意を払わなければなりませんよ～

元々「セントパトリックデー」あるいは「聖パトリックの命日」は、アイルランドで何世紀も前から受け継がれてきた伝統的な祝日です。現在のアメリカでは、アイルランド系のいかに問わず、お酒さえあれば誰でもワイワイ楽しめる全国規模のイベントになっています。

ただ、条件が一項付き。
「緑を着ないと、抓られちゃうぞ～」



セーター、帽子、靴下などなど、緑を着るだけで何でも可能ですけれど、「そもそも、なぜ抓ねるの？」と聞かれたら、アメリカ出身の私ですらさっぱり分かりません。ただ、理由も分からないまま、友達や両親が気を抜いた瞬間を狙い、楽しくきつく抓っただけです。

グーグル先生によると、アイルランドの物語などに登場するいたずら好きな「レプラコーン」は、人間たちをよく抓ねるそうです。そのうえ、レプラコーンた

ちは緑が見えない故に、自分自身の気配を隠すために、みんなが緑のコスプレに扮して、抓られるのを避けます。

皆様も、ぜひセントパトリックデーを楽しんでほしいですけど、大変な目に遭いませんように緑色の服を必ず着てください。痛いですからね～＾＾～



編集部より

皆さん、こんにちは。
と、皆さんにご挨拶を始めてから、もう1年。月日が経つのは早いものですね。

1年の始まりには、先のことを考えると不安や焦りが先に立って、3月が遠い未来のこのように思えるのに、過ぎてみれば、あっという間で、毎年3月になると、何を成し得たかな？と反省している気がします。

でも、我が家の3月は大変おめでたい月です！

なぜかといえば、我が家の愛犬アニーちゃんのお誕生日なのです！！

親バカな私たちは、今年もお部屋をバルーンで飾り付け、わんちゃん用のケーキを準備し、お誕生日パーティーを開催します。アニーちゃんが喜んでるかどうかは、別として(笑)

体はいつまでも大きくなりませんが(胴はだいぶ長くなりましたが...)、アニーちゃんも今年で5歳。人間の年齢にすると36歳なのだから。

ミニチュアダックスの寿命は13～16歳とのことなので、もうしばらくは一緒にいられると思いますが、ずっと元気で長生きしてほしいなど、願うばかりです。

【亀谷】

皆さん、こんにちは。

今回もこりずに『全国行ったつもりでぶらり旅コメント』つづけますよー(。)_m

全国行脚したつもりではじめたこのぶらり旅コメントシリーズもいよいよ今回がラスト！！そんな最終回はもちのろん宮崎県に行ったつもりいー…のつもりでしたが、皆さんお住いの県なので、あらためてお話す内容でもないかなあと思ひまして、今回は宮崎県のあるあるをたくさん言います😊

○TVのチャンネルを変える時は「裏にする」「反対にする」で通じる
○運動会の組み分けを赤団・白団と呼んでいるが、他県では赤組・白組である

○チキン南蛮、レタス巻きが宮崎発祥だと知らない人が多い

○ほとんどの学校にソテツやフェニックスがある

○ほうきで「はわく」は標準語だと思っている(標準語は「はく」)

○黒板消しのことを「ラーフル」という

ホント魅力的なところですねー(´▽`) (笑)😊

【西畑】

みなさんこんにちは

早いものでもう3月ですね。こちらに越してきてあっという間に1年が経とうとしています。

出会いと別れの季節。私は今までに引越しや転職を繰り返してきて、どちらかと言うと先にお別れをして去っていく方でした。でも4月上旬に、中国国際交流員の張麗霞さんが私より先に任期満了になってしまいました(´；ω；`)

麗霞さんとは同年代ということもあり、国は違っても通じ合える部分が多々ありました。会話をすることがとても楽しく、明るい笑顔にたくさん救われました

麗霞さん今まで本当にありがとう！残りのみやこんじょライフを満喫してね(*^^*)

そして、またの機会に会えますように！

【中瀬】

最近、日本では、若者間で「レトロブーム」はますます勢いを増しています。昭和、大正のカルチャーは若者にとって目新しく、面白みを感じられるのでしょう。一方、中国でも80、90年代を懐かしと思うブームが起きています。SNSでは、80、90年代を回顧する記事や写真が人気となって、また、その時代の歌や映画、ドラマ、文学作品なども再び注目されて、とりわけ、日本のテレビドラマが取り上げられることが多いです。

その中で、心に深く残り、現在50歳以上の人であれば、知らない人がいないほど有名な日本のテレビドラマが、「赤い疑惑」と、「燃えろアタック」です。40代の人にとっては、「東京ラブストーリー」はラブストーリーの最高傑作、日本の神ドラマのひとつのような存在です。当時、人々はテ

レビの前に群がって、食い入るように見て、感動して、泣いたり笑ったりして、大いに楽しみました。

【れいか】

「母語を大事にしないで」と改めて肝に銘じました。

アメリカである母国から都城市に渡航して、間もなく2年が経過します。昨今、業務中ではもとより、プライベートですら現在の日常は常に日本語の環境にどっぷりと漬かっております。映画を観るときも、本を読むときも、ひとりごとするときでさえ、「日本語の脳」を絶えず回転させております。

「だからですよ」ある事件が起こりました。

相変わらずの職場の景色の中、職員同士とあるチラシの内容について話していたのです。上司から聞かれた「セス、このダイバーシティってなんだろう？」に私はこう答えました：

「ダイバーシティ？んー、あれじゃないですか？海に潜る人たちが集まるところ？」

周りの一人が忍び笑い。私は続けて言いました。

「ダイバーって、海に潜るそのもの…シティって、都会でしょう？」と。その瞬間、英語圏の人としては、知らず知らず敗北を喫してしまいました。

2分、3分、約5分経ち、ついに床に倒れるぐらい自分のミスに気づきました。きっかけは、下記に載っていた日本語の「多様性」という単語を読んだからです。この話は、痛い。痛いけれど、解決方法はただ一つ。このアメリカ人の私は、「日常のスキマに英語の読書時間も入れなくちゃ」ということです。

母国語も愛おしく思うから、皆様、一緒に英語の勉強を頑張りましょう！(笑) 【セス】

皆さん、サエンバエノ！

今年のモンゴル旧正月は3月1日にあります。旧暦に従って決められるので、日取りは毎年変わります！モンゴル人は元日を清らかな心で迎えるため、大晦日に大掃除をします。1年間の悪い出来事や家の中にたまった悪いものを追い出し、新年を清潔で幸せな気持ちで迎えることを表しています。

日本にいるからといって、変わることはありません。今年も床から天井まで、家の隅々まで掃除しました！そして、大晦日の習慣も忘れずに！大晦日の夜に吉祥天が(ラマ教の幸せの神様)すべての家庭を訪れ、幸せをもたらしてくれます。吉祥天の乗り物である「ロバと馬のハーフ動物」は、大晦日に限って非常に忙しいのです！次の家庭に向かうためのエネルギーを補充するため、玄関の扉の下に透明な氷を置きます。「元日の朝、確かに氷はなくなっていました。今年も幸せな一年になりそうですね(笑)。

【ヒシゲ】

今年度も役員、会員、ボランティアの方々の御支援で本協会の運営、イベント等を開催することができました。お礼を申し上げます。

都城圏域では外国人の居住者が4000人近くになっています。日常生活で外国人が多いと感じられることも多いと思います。協会ではいろいろな情報の発信や外国人を交えたイベントなどを開催する予定です。来年度もよろしくお願いたします。

【藤元】

いつの間にか辛い物が食べられるようになった小2の娘。キムチにハマっています。どうやら私よりも辛い物が食べられるようで、追いつかれてしまった気分です。身長もそう遠くないうちに追い越されるでしょう。

【迫田】

先月、モンゴル人のお友達が千葉から遊びに来て、まずは宮崎空港から青島神社を案内しました。途中で、感動されたことは「山が見えてモンゴルみたい」ということでした。お友達に住んでいる場所が、田んぼが多い地域だそうです。都城市に来たら、霧島連山を崇拜して帰りました。

【ソヨ】